

地方独立行政法人
栃木県立がんセンター

緩和ケアのご案内



がんになったとき、からだやこころの苦痛を
和らげる医療があることをご存じですか。

緩和ケアセンター

緩和ケアとは

緩和ケアは、患者さんの症状を和らげ、自分らしい生活を送っていただくための医療です。

緩和ケアは、がんと診断されたときから始まります。がんが進行してから始めるものではありません。がんの治療とともに、つらさを感じるときにはいつでも受けることができます。

栃木県立がんセンターは、2016年1月に緩和ケアセンターを開設しました。

緩和ケアセンターは、がんの患者さんやご家族の抱えるさまざまな苦痛を和らげることを目指し、緩和ケアに関する3つの医療を行っています。



□ 緩和ケア外来

痛みなどの身体の症状、病気や治療に伴う気持ちのつらさを和らげるため、外来通院での緩和医療を提供します。医師の初回診察には、緩和ケアセンターの看護師が同席します。

□ 緩和ケアチーム

一般病棟に入院中の患者さんに対し、医師や看護師に加え、薬剤師や公認心理師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなどの多職種によるチーム医療を提供します。

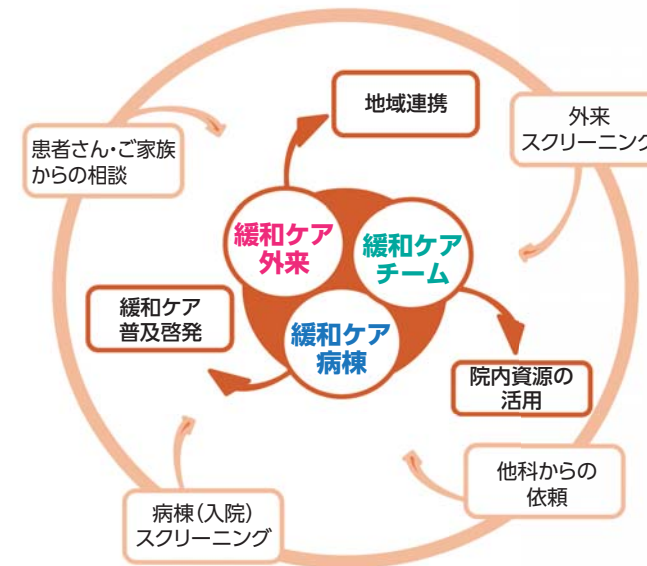
□ 緩和ケア病棟

つらい症状があり、在宅での療養が困難な患者さんに、入院での緩和医療を提供します。つらい症状が緩和されれば、在宅での生活に戻ることを目指しています。

緩和ケアセンター

緩和ケアを考えるのに、早すぎるということはありません。がんに伴う身体のみならず、気持ちのつらさや生活上で困っていることなど、ひとりで抱えずにご相談ください。

緩和ケアといっても、その形は様々です。緩和ケアセンターでは、おひとりおひとりの状況に合わせて、最適な緩和ケアの形を提案していきます。



・外来や入院でのスクリーニング（症状の有無や困りごとの確認）、他科からの依頼、患者さんやご家族からの相談を受けるなどの方法により、緩和ケアを必要とする患者さんの情報を把握します。

・把握した情報をもとに、症状緩和のため院内資源の活用をすすめたり、地域と連携し在宅でのより良い療養環境を提案します。また、緩和ケアに対する普及啓発を推進し、地域全体の緩和ケアに対する理解を高めます。

患者さんのQOL（自分らしさ）向上を目指して、院内外の連携を図ります。

緩和ケアセンターメンバー

- ・センター長
- ・ジェネラルマネージャー
- ・専門・認定看護師
- ・緩和ケア科担当医師
- ・精神腫瘍科医師
- ・薬剤師
- ・医療ソーシャルワーカー
- ・公認心理師
- ・事務職員

緩和ケアセンター協力者

- ・がん相談支援チーム
- ・地域連携チーム
- ・歯科医師
- ・看護師
- ・理学療法士
- ・管理栄養士

主な業務

- ・患者さんの苦痛を把握するために、適切な緩和ケアを提供するためのスクリーニングを実施します。
- ・連携協力している地域の医療機関から紹介された患者さんに対し緊急入院体制を整備します。
- ・地域の医療機関と合同カンファレンスを実施し、緩和ケアに関する地域連携を推進します。
- ・がん相談支援チームや地域連携チームと連携し、高次の相談体制を整備します。

緩和ケア外来(緩和ケア科)

緩和ケア外来では、がんの治療時期の早い遅いにかかわらず、患者さんが身体の不快な症状や気持ちのつらさを感じた時から、専門の医師や看護師が主治医と協力して苦しさを和らげられるように治療や相談を行っています。緩和ケア病棟の紹介も行っています。

外来日

月	火	水	木	金
○	○	×	×	○
14:00~16:00	14:00~16:00			13:00~15:00

- ・緩和ケア外来は完全予約制です。
- ・緩和ケア外来受診希望の方は、現在がんで通院中の医療機関担当医に相談してください。患者さん、ご家族が直接予約することはできません。
- ・初回の緩和ケア外来は緩和ケアセンター看護師が同席いたします。(ただし、業務の都合により同席できない場合もあります。)
- ・医師の説明の中でよくわからなかったことを聞きたい。
- ・入院までにどのくらい待つのか教えてほしい。
- ・自宅から病院が遠方で今後の通院が心配だ。など、お気軽にお尋ねください。
- ・ご希望に応じて、看護師による継続的なご相談もお受けできます。また、お困りの内容によっては、薬剤師や医療ソーシャルワーカー、公認心理師等、他の相談窓口をご紹介することもできます。
- ・緩和ケアは病院だけでなく、自宅で往診や訪問看護を受けながら行うこともできます。希望があれば在宅緩和ケアを行う、医療機関と連携を図ります。まずは、どのように過ごしたいと考えているかお気持ちをお聞かせください。

緩和ケアチーム

緩和ケアチームは、当センターに入院や通院している方なら、治療の初期段階からどなたでもご利用いただけます。

現在の主治医や担当看護師、過ごす場所はわかりません。専門のスタッフが協力して、病気のこと、生活のこと、大切にしていることを多職種で共に考えます。

緩和ケアチームの主なメンバー



- 医師**
主治医と共に、痛みなど身体の症状を担当する医師と、不眠など精神症状を担当する医師が協力してサポートします。
- 看護師**
担当看護師と共に、緩和ケアに関する専門の知識をもった看護師が関わります。
- 薬剤師**
痛みをはじめとしたさまざまな症状を緩和するための薬について相談を受けられます。
- 公認心理師**
気持ちのつらさに対して専門的にサポートします。
- 医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)**
生活全般の経済面、福祉制度、在宅療養の調整などをサポートします。
- 管理栄養士**
少しでも食べたいものが食べられるようサポートします。



緩和ケアチームのパンフレットは入院のご案内にも同封しています。緩和ケアチームへの相談のご希望がある場合には、主治医やお近くの看護師にお声かけください。

たとえばこんな時…

- * 痛み、だるさ、息苦しさ、吐き気など 身体のつらさ
- * 眠れない、不安、気分が落ち込む、家族のストレスなど 気持ちのつらさ
- * 医療費や生活費について、家族の悩み、仕事の悩み、退院後の生活など 生活に関わる心配事

緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は、がんに伴う身体や心のつらさなどの症状を出来る限り和らげることを目指す病棟です。通院では症状を和らげることが難しく、入院が必要とされた患者さんが対象です。



個室



廊下



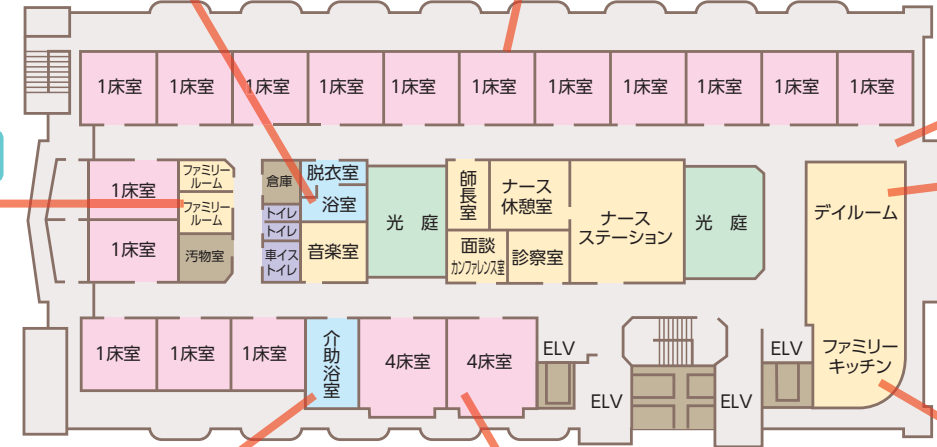
家族風呂



家族控室



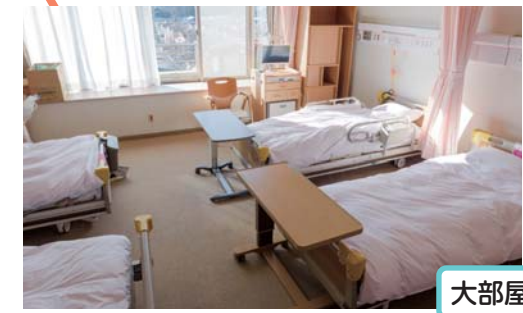
介助浴室



ダイルーム



ファミリーキッチン



大部屋

【緩和ケア病棟入棟までの手続き】

緩和ケア科外来を受診していただきます(完全予約制)。主治医が外来を予約し問診票と入棟申込書をお渡ししますので、緩和ケア外来受診日にお持ちください(在宅療養中の場合は問診票のみになります)。

緩和ケアに対するご理解などを確認させていただいた上で、院内の緩和ケア病棟入棟判定を経て、緩和ケア病棟に登録となります。

【緩和ケア科受診の際に確認させていただくこと】

1. 患者さんご家族のご理解について
患者さんやご家族が、入棟を希望されているかどうかお聞きします。
2. 緩和ケア病棟での治療方針について
症状緩和を目的とした治療を行うことのご理解についてお聞きします。
3. 症状変化時の対応について
患者さんに負担を強いる処置や装置は行わないことのご理解についてお聞きします。
4. 付き添いについて
患者さんの状態によってはご家族等の付添いが可能かどうかお聞きします。
5. 申込み後の確認事項について
療養場所の確認や、在宅医療の意向についてお聞きします。

【緩和ケア病棟の特徴】

- 24時間面会対応可能です(ペットの面会をご遠慮ください)。
- ファミリーキッチンや家族風呂など、家庭に近い環境で過ごしていただけるよう設備を整えています。

【費用】

治療内容にかかわらず定額制(1日の医療費が一定額に決められています)となっています。詳細の費用については別紙をご参照ください。
医療費には食事代や有料個室代は含まれません。

- 緩和ケア病棟の入院費用は医療保険が適用されますが、医療費が一定の金額を超える場合は「高額療養費制度」などにより医療費の自己負担額の軽減が図れます。加入している公的医療保険にお問い合わせいただき手続きが必要になります。
- 病棟は個室16室、4人室2室です。部屋の設備等に応じて個室料金が設定されています。



緩和ケアに関するご相談

たとえば、こんな場合にご相談ください。

- ・緩和ケア外来を受診したい。
- ・緩和ケアチームのサポートを受けたい。
- ・緩和ケア病棟のことを聞きたい。
- ・つらい症状があるが、誰に相談すればよいかわからない。
- ・在宅療養についてききたい。



など

まずは、がん相談支援センターにご相談ください。ご相談の内容によって、緩和ケアセンターの看護師におつなぎします。

相談時間は、月～金曜日の
8:30～17:00 です。

☎ 028-658-6484 (直通)



交通案内

◆JR宇都宮線

宇都宮駅西口から関東バス「江曾島行」で「がんセンター前」下車(約25分)

◆東武宇都宮線

江曾島駅東口から関東バス「JR宇都宮行」で「がんセンター前」下車(約5分)

◆東北自動車道

鹿沼インターから滝谷町交差点を右折南進し、JR陸橋を越え3つ目の信号を左折(約20分)